



「よかたんプロジェクト」を軸としたキャリア教育の実践～探究×地域連携力×課題対応力を強みとした「ミラヨカ人材」の育成～

キーワード

総合的な探究の時間、PBL（プロジェクトベースドラーニング）、地域連携力、機能的な地域連携システムの構築、課題対応力

取組概要

- (1)総合的な探究の時間（「通称：よかたん」）における「地域連携」型PBLの取組による、実社会に根ざした探究活動の推進。
- (2)豊富な地域資源・人材を活用する機能的な地域連携システムによる人間関係・社会形成能力の育成。
- (3)地域社会に参画できる人材（ミラヨカ人材）の育成：地域課題解決に着眼した探究活動を自己の学びやキャリアにつなげると同時に、次代の地域人材の育成やよりよい未来社会の担い手づくりに資するキャリア教育の推進。

取組の詳細

(1)PBL（プロジェクトベースドラーニング）による系統的な「総探」の構築

- ① 1 学年：広報誌作成（地域の魅力の発掘）
- ② 2 学年：地域の課題解決
- ③ 3 学年：進路探究
- ④ 外部メンター（8名）による指導・助言（2回）
（2学年探究計画発表会・ポスターセッション）
- ⑤ 公開ポスターセッション（2月）の実施
（北海道立平取高生徒、地元企業、緑が丘中中等）



メンターによる指導・助言

(2)地域連携に係る機能的なシステムの構築

- ① うるま市と連携した企業見学バスツアーの実施
市内工業団地の企業25社で実施。市職員による市の産業や雇用状況や課題の講義を踏まえ実社会や実生活に即した探究テーマや問いの設定並びに職業観や勤労観の育成を図っている。
- ② 「肝高あやはし組合」（地域の通り会）との関係構築（未来のよかちや育成プロジェクト「ミラヨカ」との連動）



うるま市企業見学バスツアー

月1～2回程度、担当教諭や生徒と「肝高あやはし組合」メンバーとの情報交換会を実施。探究活動の見聞を広げると同時に世代を超えた取組により人間関係形成能力・社会形成能力等の育成を図っている。



発案スイーツ商品化決定

基礎情報

本校は沖縄本島中部与勝半島に位置し、設置学科は1学科（普通科）、1学年4クラス、生徒数411名である。創立46年目を迎えるが、平成19年、県立与勝緑が丘中学校が開校し、本県初の併設型・中高一貫教育校となった。令和2年度から1学年では地域の魅力発見、2学年においては地域課題の解決をテーマとした探究活動に取り組む。令和4年度から機能的な地域連携システムを構築し、豊かな地域資源を活かした、地域と一体となったキャリア教育に取り組んでいる。

成果

- (1)地域の魅力発信や地域愛の高揚を目的として発案した「よかちやフェス」の企画・運営を「肝高あやはし組合」（地域の通り会）と連携し、実施した。
- (2)地元産の食材を用いたスイーツを考案し、地元の生産者や食品加工会社と連携し商品化に取り組み、大手コンビニエンスストアにおける販売に繋がった。
- (3)探究活動を大学等での学びに繋げ、自己理解や社会参画や社会貢献意識の高揚などキャリア発達を促している。その成果として、R5～R6年度卒業生の進路決定率は約92%、うち国立大学への進学者が約30%を占め、R3度（約16%）・R4年度（約24%）から躍進した。

課題や今後に向けて

- (1)生徒の探究活動の指導・支援方法の体系化・標準化。
- (2)探究的な問いを立てる十分な時間の確保とその支援。
- (3)キャリアプランニング能力のさらなる向上を目指した取組。

推薦教育委員会名：（沖縄県教育委員会）